

生きものンンフオーニー

いのちがやくなごや

令和5年12月

41号

特集

第8回 なごや生物多様性センターまつり

第8回なごや生物多様性センターまつりが、10月28日に開催されました。さわやかな秋晴れのもと、来場者はワークショップやゲーム、パネル展示などで、生きものたちとのつながりを体感する一日となりました。

また、生物多様性ユースひろばでは、中高生が日頃の活動を熱心に語る姿も見られました。



同時開催 生物多様性
ユースひろば

CONTENTS

特集

第8回 なごや生物多様性センターまつり P1~4

同時開催 生物多様性ユースひろば

TOPICS	なごや生きものの一斉調査2023 ～ハエトリグモ編～	P5
活動紹介	愛知県立愛知総合工科高等学校 自然科学部・理工探究部	P6
掲示板	令和6年度 なごや生物多様性保全活動協議会助成金 助成団体募集	P6



40以上の団体が参加した今年のセンターまつり。外来種ブラックバスの試食やお絵かき収集車、生きものに触れたり観察したり、楽しい体験が盛りだくさん。生物多様性を知って、伝えて守っていくことを考えるイベントとなりました。

なごや生物多様性センターの出展内容

ビオトープツアー

小中学生を対象にビオトープの探索を実施。多くの生きものが訪れる様子から、その多様性を実感しました。



バックヤードツアー

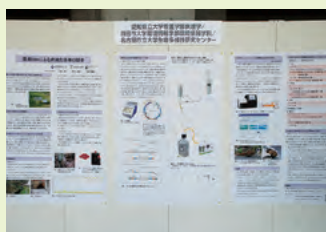
動物の標本を作る作業室や植物標本室など、普段見ることのできないエリアを見学。標本に関する説明を受け、センターの活動の一部を知ることができました。



作業室

植物標本室

標本・パネル展示や
ビオトープツアー、
バックヤードツアーを行いました。



環境DNAによる絶滅危惧種の調査
愛知県立大学看護学部病理学／
四日市大学環境情報学部環境情報学科／
名古屋大学理学研究科附属
生物多様性研究センター



チリメンモンスターをさがせ!
「あいちの海」グリーンマップ



Welcome to 命P!
命をつなぐProject 学生実行委員



コケの世界に触れてみよう
苔むす会



**葉っぱや種から
生物多様性を学ぼう!**
株式会社 地球環境計画名古屋支社



みつばちと命のサイクルから学ぶ!
～BeeHappy∞Project～
地球ハグ倶楽部



不思議なクモたち
中部蜘蛛懇談会



名古屋港スナメリプロジェクト
名古屋港水族館



**剪定枝、刈草を原料に
堆肥を製造しています**
公益財団法人 名古屋港緑地保全協会



名古屋市とその周辺の昆虫たち
名古屋昆虫同好会



ふれてみよう! つなげよう!
なごやの自然
名古屋自然観察会(愛知県自然観察指導員
連絡協議会名古屋支部)



なごやのバッタ類の遺伝的多様性
名古屋大学生物多様性研究センター／
なごび昆虫類部会



みんなでやろまい!
なごやの森づくり!
なごやの森づくりパートナーシップ連絡会



竹と親しもう
NPO法人 なごや東山の森づくりの会



サルを知ることはヒトを知ること
公益財団法人日本モンキーセンター



要救助者はタカやハヤブサ
日本ワシタカ研究センター

なごや生きものトーク

出演：アウトドアタレント 鉄崎幹人さん



考えは
地球規模で、
行動は足元から

今年も大人気!セミやカメ、街路樹など、指標となる生物から名古屋の自然環境を知ることができました。また、「見た目がかわいい、カッコいい。でも実は外来種」といったトークで、身近な自然と環境問題を楽しく伝えるなど、子どもから大人まで、生態系を守るために何ができるか考える機会になりました。



やもけん活動紹介および活動報告

名城大学野生動物生態研究会



研究室の活動紹介

四日市大学野生動物保全学研究室



市民が守った藤前干潟

NPO法人 藤前干潟を守る会



猪高緑地の竹で遊ぼう

名東自然倶楽部



「人と自然が共生するあいち」を目指そう!

愛知県環境局環境政策部自然環境課



地産地消!ごぞんじですか? なごやさ

名古屋市長官舎緑地環境教育課



猫のことを考えよう

名古屋市動物愛護センター



生きものに倣う! バイオミクリーの世界

名古屋市環境科学調査センター



Let's TRY!おうちでできる 生物多様性緑化

名古屋市環境局環境企画課



みんなでつなげる水の環

名古屋市環境局地域環境対策課



10月は食品ロス削減月間です
～食品ロスを減らすために、
できることから始めましょう～
2R推進実行委員会 食品ロス削減推進部会/
名古屋市長官舎緑地環境教育課



お絵かき収集車

名古屋市天白環境事業所



藤前干潟ふれあい事業のご紹介

藤前干潟ふれあい事業実行委員会
(名古屋市環境局環境企画課内)



私たちの暮らしと生物多様性

東海三県一市グリーン購入キャンペーン実行委員会/
名古屋市長官舎緑地環境教育課/
第24回日中韓三カ国環境大臣会合支援実行委員会



外来種ブラックバスの試食コーナー

なごや生物多様性保全活動協議会



生物多様性とともにあるなごやへ

なごや生物多様性保全活動協議会



ふれあい水族館

※株式会社 青空/移動動物園・アクティブ/愛知県
豊田市長官舎緑地44番1/展示/動東第
407号/H27.2.9/R7.2.8/豊田美春

なごやネイチャーポジティブ宣言をしました

生物多様性における新たな世界目標「ネイチャーポジティブ」の実現に向けて、河村たかし市長が宣言。併せて、「生物多様性なごや戦略実行計画2030」の策定・公表と、「なごやネイチャーポジティブ」シンボルマークの募集も発表されました。



名古屋市が先陣を切って、
ネイチャーポジティブに取り組んでいきます!

同時開催

生物多様性ユースひろば

学生たちが日頃の活動を紹介した「生物多様性ユースひろば」。今年は11校が参加し、来場者と交流を深めました。

愛知県立愛知総合工科高等学校 理工探究部 地域貢献班



天蚕の室内飼育に向けて絶賛研究中。人工飼料やブランドづくりも視野に、地域の子どもたちと葉っぱ集めや飼育、綿・絹づくりを予定。

名古屋市立向陽高等学校 科学部



コウモリの超音波、ウニ、プランナリア、種子散布など、バラエティ豊かな研究が見もの。音声や映像、顕微鏡などで観察できる体験に、来場者も興味津々でした。

名古屋市立桜台高等学校 天文部生物班



生物採集や飼育、透明骨格標本の作成を通して、天白川の生態系を調査中。ブースでは、クロベンケイガニのかわいい食事シーンも見られました。

愛知県立佐屋高等学校 科学部



ナゴヤダルマガエルやハスの花托など様々な展示やアンケートを実施。昨年よりさらに深掘りしたカメ類の調査など、熱意がたっぷりあふれていました。

東海中学・高等学校 生物部



標本や飼育中の生きものの展示を通して、来場者と交流。発表では、外来種問題を取り上げ、生物多様性の危機や私たちにできることを訴えかけました。

名古屋大谷高等学校 化学部



「ナマズに興味をもって!」ナマズのかっこいさに魅了された生徒たちが、その生態を研究。飼育中のナマズをお披露目しながら、魅力を発信しました。

名古屋経済大学市邨中学校・高等学校 科学研究部



多様な生態系が見られる学校ビオトープを活用し、調査や保全活動を実施。最近ではキャラクター制作など、身近なところから生きものの好きを増やす活動にも力を入れています。

名古屋経済大学高蔵 高等学校・中学校 理科部



山崎川の清掃や調査をコツコツ継続。大量生息するカダヤシを駆除して飼育中のカワアナゴの餌にするなど、駆除活動も地道に行っています。

南山高等学校・中学校 男子部 理科部生物班



飼育するカメや標本など身近な生きものの展示を通して、人と生物が棲み分ける「ゾーニング」を発信。里山模型も注目されていました。

名城大学附属高等学校 自然科学部



庄内川の実地調査や動物の解剖、骨格標本の作成などを意欲的に活動。今年はイノシシの毛皮標本が登場し、子どもから大人まで釘付けでした。

愛知県立明和高等学校 SSH部生物班



タヌキの研究では、定点映像やフンの分析から、独自の生態系が見えてきた発表も。今後も調査を続け、広報にも力を入れたいと意欲満々でした。



ステージ発表しました!

司会進行：鉄崎幹人さん

ユースひろば11校のうち6校が、日頃の活動内容や成果などを披露。生きものへの探究心あふれる発表でした。

- ・名古屋市立向陽高等学校 科学部
- ・名古屋大谷高等学校 化学部
- ・名古屋経済大学市邨中学校・高等学校 科学研究部
- ・愛知県立佐屋高等学校 科学部
- ・東海中学・高等学校 生物部
- ・愛知県立明和高等学校 SSH部生物班

なごや生きものの一斉調査2023

ハエトリグモ編

なごや生物多様性保全活動協議会(なごビオ)主催の「なごや生きものの一斉調査」が9月22日～24日に開催されました。

今年のテーマは「ハエトリグモ」。親子連れや学生らが参加し、市内およびその周辺68カ所の公園や緑地などで採集を行いました。



小さな虫ハンター「ハエトリグモ」

1cmにも満たないほどの小さなハエトリグモ。つぶらな瞳を持つかわいさもありながら、その名の通り、ハエなどの虫を食べる肉食ハンターです。

そんなハエトリグモが、日本では100種類以上確認されており、その姿や模様は多彩。今回は、名古屋市およびその周辺地域にどれだけのハエトリグモが生息しているのか、調査しました。

調査当日、参加者らは調査リーダーから説明を受けた後、手分けして調査を開始。説明では、クモは昆虫ではないことや、その違いなども紹介。「ぱっと見てかわいいクモがハエトリグモですよ」との声かけに和む場面もありました。

ハエトリグモを探す場所は、樹木や草、落ち葉の上。ブロック塀の隙間やトイレなどの建物の角に住居を作り、隠れていることもあるそうです。

参加者らは、落ち葉をふるいにかけ、残った土壌から探したり、樹木や草を棒でたたき、落ちてきたクモを網や傘などで受け止める「ビーティング」という方法で採集するなど、目を凝らして見つけていきました。



目を凝らして探す参加者たち



ササグモ
(ハエトリグモと間違えやすいクモ)



急いで
捕まえて!



資料を見ながら
同定作業

アリのそっくりさんや色・模様もさまざま

捕獲したクモは、容器に1個体ずつ保存。ぴょんぴょん跳ねるハエトリグモは捕まえるのも難しく、また力を入れ過ぎてつぶれないようにするなど、やさしく丁寧な作業が求められます。そして、調査地点のどんな環境で捕獲したのか記録をしていき、時間いっぱい楽しみながら調査を行いました。

その後は、簡易検索表をもとに、同定作業を実施。アリとよく似た「アリグモ」や、少し平たい「ヒメカラスハエトリ」、「マミジロハエトリ」などが見つかりましたが、肉眼では同定できないクモも少なくありませんでした。また、オスとメスでは姿が大きく異なるクモも多く、ハエトリグモと間違えやすいクモもいるなど、参加者らは、身近な自然に触れながら、普段あまり気にしていなかったクモの世界に熱中していました。

この詳しい調査結果は、今後まとめて報告する予定です。

活動紹介

愛知県立愛知総合工科高等学校 自然科学部・理工探究部

愛知県立愛知総合工科高等学校では、自然科学部と理工探究部が日々調査や研究活動に取り組んでいます。

自然科学部では昨年、あいち未来クリエイティブ部に参加し、猫ヶ洞池とにのりの関係性を研究。愛知県高等学校文化連盟での発表や、地元中学生に向けた環境啓発活動を行いました。そして、今年はミニトマト栽培を行い、木酢液と肥料などを使った液肥の検証実験に挑戦。成長速度や糖度の違いを調査しました。顧問の先生も評価するほど研究熱心な生徒たち。後輩に、猫ヶ洞池の調査を続けてほしいと期待を送ります。



昨年新設された理工探究部は、研究班と地域貢献班に分かれて活動をしています。研究班では、各自が興味のあるテーマに熱中し、生きもの好きな生徒は、カエルの跳躍力や魚の瞬発力を分析してロボットを考案中。ゼロから考える楽しさや気づきを背景に、

生徒の探究心を燃やしています。その研究成果を、名古屋大学でも発表しました。



一方、地域貢献班は、小学校のトワイライトスクールや商業施設で、科学実験などの出前授業を実施。活動を通して地域交流や科学の楽しさを伝えています。さらに今年は、天蚕の研究を始め、人工飼料づくりなどに挑戦中です。こうした研究活動は、AITサイエンス大賞やセンターまつりで発表するなど、何事にも全力投球。楽しみながら、その経験を糧にしています。



掲示板

令和
6年度

なごや生物多様性保全活動協議会助成金 助成団体募集



なごや生物多様性保全活動協議会では、自然環境保全の“後継者育成を目的とする活動”を支援することで、次世代の担い手づくりやこれからの自然環境保全活動の創出を応援しています。

令和6年1月4日から2月2日まで、令和6年度の助成団体を募集します。助成金交付要綱など、詳しくは協議会のウェブサイトをご覧ください。

協議会ウェブサイト



<https://bdnagoya.jp/>

問い合わせ・申し込み先

発行：名古屋市環境局なごや生物多様性センター

住所 〒468-0066 名古屋市天白区元八事五丁目230番地

電話 052-831-8104(平日 8:45~17:30) FAX 052-839-1695

E-mail bdnagoya@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp

なごや生きものライブラリー

なごや生きものライブラリー 検索

<https://ikimono.city.nagoya.jp/>



名古屋市公式サイト

<https://www.city.nagoya.jp/>

なごや生物多様性保全活動協議会

<https://bdnagoya.jp/>

地下鉄塩釜口駅
2番または3番出口から
徒歩5分



生きものシンフォニーのバックナンバーは、なごや生物多様性センターのウェブサイト「なごや生きものライブラリー」でご覧いただけます。